

Living life in peace. This is what we need.

◀一宮の史跡散歩▶

上泉伊勢守信綱居士修道跡

一宮市博物館の隣にある妙興寺は、戦国時代に剣豪、剣聖といわれた新陰流の使い手・上泉伊勢守信綱が修行していた寺で、その弟子だった柳生石舟斎宗厳（むねよし）が「無刀取り」を考案した地です。

上泉信綱と弟子の柳生宗厳が妙興寺で修行していた時のこと。刀を持った乱心者が現れ、子どもを人質に取り立て籠もる事件がありました。この時、上泉信綱は素手で乱心者に立ち向かい、見たこともない技で乱心者を取り押さえます。それを見ていた弟子の柳生

宗厳は、かねてより信綱から出されていた課題「無刀取り」を完成させました。「無刀取り」というのは、自らは刀を持たず、刀を持った相手を制するものなのです。

時代劇でも有名な柳生新陰流は、上泉伊勢守信綱が考案し、弟子だった柳生石舟斎宗厳に伝えた流派といわれています。ちなみに、柳生十兵衛三厳（みつよし）は、宗厳の五男柳生但馬守宗矩（むねのり）の長男で、柳生新陰流の第一人者であり、荒木又右エ門をはじめ多くの弟子を育てました。



上泉伊勢守信綱居士修道跡の石碑・案内板

拝一刀

小池一夫作「子連れ狼」の主人公で架空の人物。「水鷗流」の達人。元公儀介錯人。

柳生烈堂義仙

柳生但馬守宗矩の四男。僧侶となる。

小池一夫作「子連れ狼」では、拝一刀の命を狙う裏柳生の総師として登場。裏柳生は架空のもので、柳生家菩提寺の芳徳寺の第一世住持。